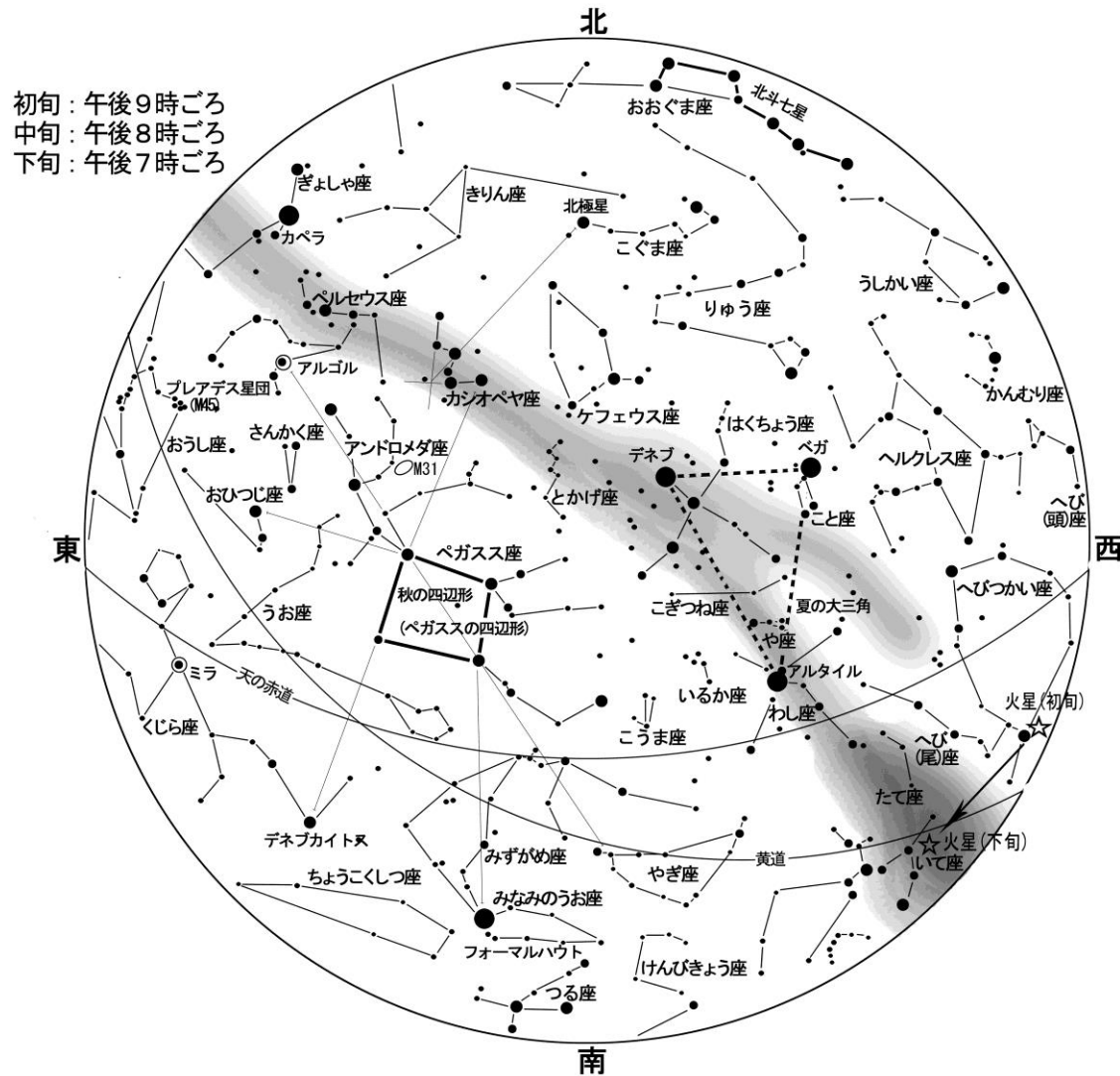


平成26年 10月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



初旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★10月の星空案内

今月の星空では、頭の真上あたりに握り拳より一回り大きい四角形の星の並びがあります。これを“秋の四辺形”といい、秋の星座めぐりのよい案内役になります。ここには「ペガスス座」があります。この“秋の四辺形”を使って星座を探しましょう。

まず、“ペガサスの四辺形”の西（右）の辺を南にのばしていくと、秋の星空で唯一の一等星フォーマルハウトを見つけられます。ここには「みなみのうお座」があります。次に、“秋の四辺形”の東（左）の辺を北にのばしていくと、W字に並んだ5つの星の並びにぶつかります。この星の並びが「カシオペア座」です。また、“秋の四辺形”の北東角（左上）の星を頂点とした“アルファベットAの字”の星の並びが「アンドロメダ座」です。このあたりに雲のようなものが見えます。これが、アンドロメダ銀河（M31）です。アンドロメダ銀河は、私たちのいる天の川銀河のとなりの銀河です。ただ、となりと言っても、地球から約230万光年（光の速さで約230万年かかる距離）離れています。

秋の夜長には、星や星座、アンドロメダ銀河探しにチャレンジしてみたいかですか。

< 現在見える惑星 >

- 水星（2.3等前後）：おとめ座付近。日没後、西南西の低空で輝く。（観測難）
- 金星（-3.9等前後）：おとめ座付近。夜明け前、東の空で輝く。（観測難）
- 火星（0.9等前後）：へびつかい→いて座付近。日没後、南南西の低空で赤っぽく輝く。
- 木星（-2.0等前後）：かに→しし座付近。夜明け前、東北東の低空で輝く。
- 土星（0.6等前後）：てんびん座付近。日没後、南西の低空で黄色っぽく輝く。（下旬難）

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	木	☾上弦 (04:33)	16	木	☾下弦 (04:12)、水星が内合 (22:51)
6	月	十三夜 (後の月)	22	水	オリオン座流星群極大
8	水	☽満月 (19:51)、皆既月食 (19:55)	24	金	☽新月 (06:57)、金星が外合 (03:37)
9	木	10月りゅう座流星群極大 (08時頃)	31	金	☾上弦 (11:48)